

# フェイスシート

平成27年 8月 10日

フリガナ	ミドリカワ カンゴ				生年月日	昭和 28年 5月 11日 (62才)			
	氏 名 緑川 完吾 様					性 別	○男 ・ 女		
住 所	〒				電 話		( )		
					F A X	( )			
介護保険	保険者 No.				被保険者 No.				
	介 護 度	要介護5			有 効 期 間	H26年3月1日～H28年2月29日			
主 治 医	医療機関名	病院			電 話	( )			
	医 師 名	先生			F A X	( )			
病 名	前立腺肥大			H18年 6月発症	備考 H18年6月、前立腺肥大のため手術施行。 平成19年頃から歩行中に前方に転倒することが出現。平成23年に脊髄小脳変性症と診断。 平成27年6月26日肺炎にて緊急入院。				
	高血圧症			H19年 5月発症					
	脊髄小脳変性症			H19年10月発症					
A   D  L	移 動	全介助	協力動作としては、声かけにかすかに首を動かすことができる。両手を少し動かすことができる。						
	食 事	全介助	ベッドを35～45度拳上で、首はややうつむき気味で準備し介助。嚥下できないため味を楽しむ程度。						
	排 泄	全介助	尿意、便意がなく失禁状態。オムツに排泄している。						
	入 浴	全介助	自ら動くことができないため、特殊浴槽で介助を受け入浴している。						
	更 衣	全介助	声かけに、手を少し動かすことができるが全て介助を受けている。						
	整 容	全介助							
記 憶	短期記憶障害								
行 動	特になし。								
介護上の	入 浴	(血圧) 160/90以上の時中止			(その他)				
	・	(体温) 37.0℃以上の時中止							
	清 拭	(感染症) なし。							
医学的 留意事項	移 動	身体を動かすと眼振が出現しますのでゆっくりと動かしてください。							
	食 事	嚥下が困難な状況なので、味を楽しむ程度としてください。吸引器を準備した状態で食べさせてください。							
	排 泄	点滴で水分と栄養補給を行っているが、進行性に全身状態が悪くなっている。							
	そ の 他	窒息等の急変の可能性が高い状況です。							
特記事項	妻と二人暮らし、息子夫婦は隣町に住んでいるが仕事が多忙であり時々顔を出す程度。娘は他県に住んでいる。 妻は、子供達へ今の夫の状態を伝えていない。 病棟看護師は、献身的な妻が夫の病状を受け入れているか心配です。少しでも長く在宅で一緒にいられる時間を持った方が良いと考えている。 <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">主介護者 継子 様 続柄 妻</div>								
緊急連絡先	電 話	090-			氏 名	E子 様		続 柄	妻

〇〇居宅介護支援事業所 (担当: K )

TEL / FAX